

日本共産党 市議会議員候補 ふじき百合子

ご町内のみなさん。おはようございます。(こんにちは。)
日本共産党のふじき百合子でございます。

立候補のごあいさつに、おうかがいいたしました。

私、ふじき百合子は、新型コロナ危機のもと、市民の「いのちとくらし」をまもるため、日本共産党の2議席実現に、全力をつくします。どうか、よろしく願いいたします。

今度の選挙は、私にとって、初挑戦で、しかも、大激戦の選挙です。
どうか、みなさんのお力添えで、「私、ふじき百合子」を市議会に送っていただきますよう、心からお願いいたします。

私は、中学生のとき父を亡くし、早く自立したいと、看護師の道を選びました。
看護学院時代、自治会活動で学んだ「1人はみんなのために、みんなは1人のために」の言葉に感銘を受け、21歳のとき、日本共産党に入党しました。

看護師として働くなか、「医療や介護のあり方が政治によって大きく左右される」ことを何度も経験してきましたが、今回のコロナ禍で、政治の責任が、いかに重要かを痛感いたしました。

コロナ禍は、社会的に弱い立場の市民の「いのちとくらし」を直撃しています。
だからこそ、「市民のいのちとくらしを大切に作る市政」にしていくことが、つよく、求められているのではないのでしょうか。

私は、そのために、医療・介護・保育・教育現場の定期的なPCR検査、ケア労働者の待遇改善に、全力でとりくみたいと思います。

本来、政治は、私たち、市民1人ひとりが、お互いに手をつなぎ、よりよい未来をつくっていくことだと思います。

私は、1人の女性。1人の市民として、これまでの経験を生かし、「医療や福祉の充実」、「性別に関係なく、誰もが大切にされる、ジェンダー平等社会の実現」に、全力でとりくんでまいります。

私たちのおこなった市政アンケートに、みなさんから、たくさんのご意見をいただきました。これからも、みなさんの願いや思いを、遠慮なく、お寄せいただきたいと思います。

私は、その願いや思いに応え、現職の谷口隆明さんと力をあわせ、一生懸命がんばってまいります。

どうか、みなさんの切実な願い実現のため、私、ふじき百合子を、みなさんのお力で、市議会に押し上げていただきますよう、重ねてお願いいたしまして、立候補のごあいさつとさせていただきます。

どうか、最後まで、よろしく願いいたします。